

UHCフォーラムに際する支援策の成果

2017年12月 外務省

日本はUHCフォーラムの共同宣言を推進を含め、今後のUHC推進のため、保健(保健システム強化, 感染症対策, 母子保健等), 栄養, 水・衛生分野で総額約29億ドルの支援を行う。

本件支援策の実施による成果(例)

(1) 保健

生涯を通じた基礎的保健サービスの継ぎ目の無いUHCを達成するためには保健システム強化が不可欠であり、下記のような保健サービス(ワクチン, 母子保健, 感染症等)の提供とともに、これら保健サービス等も通じた保健人材の育成, 医薬品のデリバリー, 医療情報の整備等を行う。

＜今後3年程度で行う保健サービス等と期待される成果の例示＞

○UHC推進や危機への備えのための保健システム強化

- ・各国における持続可能なUHC達成の基礎となる保健財政政策人材の強化や保健人材育成システムの構築
- ・各国のUHCのモニタリングを促進するためのモニタリング体制強化や指標作成。
- ・各国の国家戦略や「UHC達成に向けたロードマップ」の策定・強化, 危機への備えに係る計画策定等を支援する。

○感染症(三大感染症(エイズ, 結核, マラリア), エボラ出血熱等, 顧みられない熱帯病)

- ・600万件の三大感染症の新規感染を予防, 85万人の命を救う。また, 関連する人材育成, デリバリーやデータシステム構築支援等を行う。
- ・小児用の住血吸虫症治療薬の開発により, 感染者である3,000万人の子どもたちの健康改善に貢献。また, 医薬品の供給網整備や適切な薬価の設定等の薬事行政能力の向上のため, 担当省等の能力強化を行う。
- ・保険メカニズムを活用して, パンデミック発生時に迅速かつ効率的な資金動員を行う。
- ・エボラ出血熱やHIV等の世界的に重大な影響を与える可能性が高い感染症や, これまで治療薬が開発されてこなかった顧みられない熱帯病等に対する治療薬やワクチンの開発と供給を促進する。

○母子保健, 性と生殖に関する健康(SRH)

- ・50万人の意図しない妊娠を防止し, 4,000万件のSRHサービスの提供等を行うと同時に, サービス提供者への研修等を行う。
- ・16万人の安全の確保されない出産を防止。また, 熟練助産師訓練を実施。(バングラデシュ)
- ・各国における母子保健投資計画及び保健財政戦略の策定, 民間・国内資金動員等を通じ, 母子保健サービスを充実する。

○子どもの健康

- ・170万人の子どもへの予防接種を通じ, 3万人の命を救う。また, 予防接種を効果的に実施するためのコールド・チェーンの確保や人材育成等の保健システム強化を行う。
- ・コミュニティレベルでの, 下痢, 肺炎, マラリア等対策のためのシステム強化(調達・配布システム改善)を実施。3万人の子どもたちへ肺炎の薬の提供。
- ・ポリオワクチンを調達し, ポリオ発症を抑える。(パキスタン)

○保健サービス支援(技術協力, 病院施設・機材整備等)

- ・医療保健サービスのアクセス・質の向上, それに向けた管理監督体制強化。
- ・外来患者数, 診断件数, 手術件数の増加, 「がん」や循環器系等の非感染性疾患の早期発見, 治療件数の増加。

栄養, 水・衛生分野の取組を進めることはUHCを達成するために不可欠。

＜今後3年程度で行う取組と期待される成果の例示＞

(2) 栄養

- ・10万人超の青少年(7万人の女児, 3万人の男児)に貧血及び他の栄養不良予防サービスを提供。26万人の少年少女にビタミンA, 1万3千人に微量栄養素を提供。また, 栄養指導を実施。
- ・連邦首都区における妊婦及び2歳以下の乳児とその母親の栄養改善のための技術支援を実施。(ナイジェリア)

(3) 水・衛生

- ・6万人がそれぞれ安全な飲料水, 基礎的衛生サービスにアクセス可能となる。また, 衛生教育を実施。
- ・浄水施設の整備により, 地域の15時間以上の給水を受ける人口が1.3%から55.1%に増加。(ホンジュラス)
- ・水因性疾患の減少(特に5歳以下の子ども)。女性・子どもの水汲労働減少。(エチオピア)